

ネットワークの実現化に向けて

課題

これまでの検討結果をふまえ、宇都宮市における将来交通ネットワーク構築に向けた東西方向の基幹となる公共交通軸をバスで担う場合のバスネットワークの形成を図っていくためには、以下の点の課題を解消していく必要がある。

①公共交通ネットワークの連携

- ・ネットワークとしての利便性・効率性の向上、利用の拡大を図るため、円滑な乗り降りや乗り継ぎ等の環境整備やわかりやすい路線体系が必要である。

②利用促進を図るための利便性向上

- ・乗換え抵抗の軽減を図るため、利用者に対する、乗り継ぎの物理的抵抗軽減（水平移動距離の削減）、時間抵抗の軽減（ダイヤ調整による待ち時間の削減）、運賃抵抗の軽減（乗り継ぎ運賃制の導入）、情報案内提供の工夫などが必要である。
- ・定時性、速達性を確保するためのバス専用レーン、優先レーン、公共車両優先システムの導入は、一般車両の走行性が低下することから、より効果的な導入区間を抽出するとともに、実効性の検討が必要である。

③その他

- ・実現にあたっては、居住人口や拠点配地、現行の運行状況、土地利用計画などを考慮するほか、必要に応じて利用者等に対するニーズ調査を行うことが必要である。
- ・市民、事業者、行政など関係者が役割分担のもと、相互に連携した取り組みが必要である。
- ・運営システムの構築には、バス事業者間の調整が必要である。